

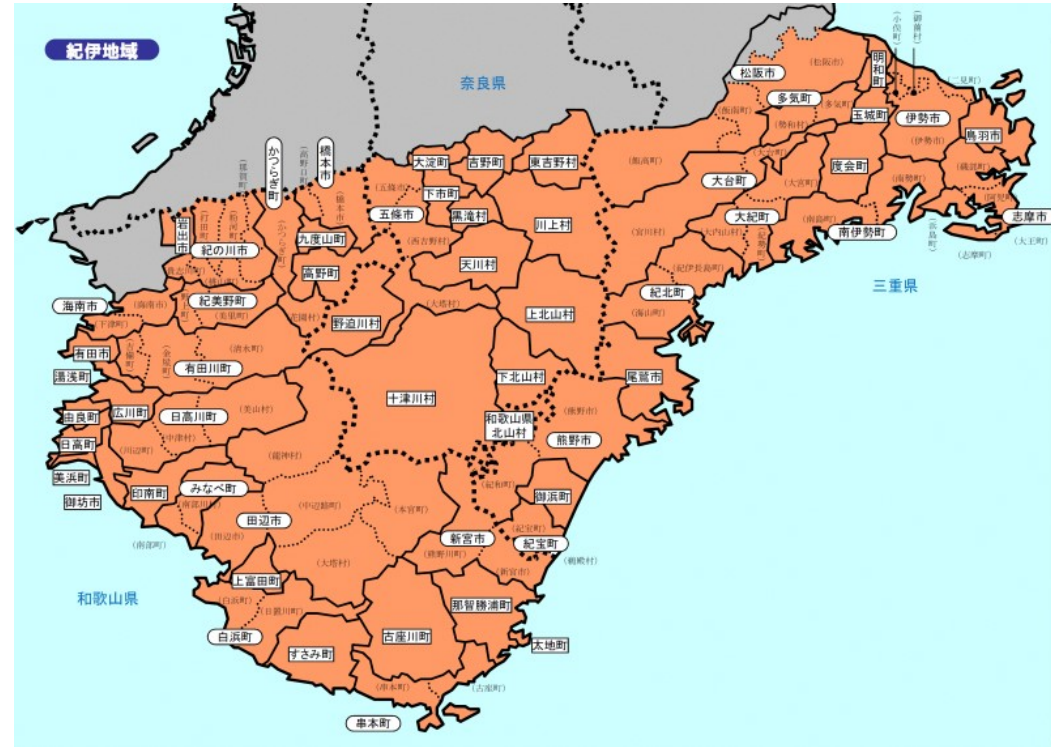
国土審議会第12回半島振興対策部会

和歌山県 発表資料

令和5年11月21日

紀伊半島について

- 三重、奈良、和歌山3県の15市33町9村により構成され、面積は約10,038 k m²。
- 黒潮の影響を受けて年間を通じて比較的温暖。多雨地帯に属し、日照時間の長さは全国有数。
- このような地形と気候から、多様性のある自然環境を形成し、多くの自然公園を有する。
- 歴史、文化的条件からみると、古くから文化・情報の発信基地であり、伊勢、吉野・大峯、熊野、高野など多くの信仰の聖地を有している。



紀伊半島における国の支援の活用状況(税制)

前回法改正が実施された平成27年から直近の令和4年度までの間で、

●半島税制を活用した企業数については、延べ1,817社

		和歌山県	三重県	奈良県
国税 (割増償却)		84 社	242 社	11 社
地方税 (不均一課税)	事業税	109 社	202 社	3 社
	不動産取得税	40 社	77 社	3 社
	固定資産税	332 社	585 社	129 社
合計		565 社	1,106 社	146 社

●地方税免除額の累計は、約47億円

		和歌山県	三重県	奈良県
地方税 (不均一課税)	事業税	70,675 千円	185,538 千円	280 千円
	不動産取得税	207,479 千円	564,913 千円	3,907 千円
	固定資産税	968,152 千円	1,655,358 千円	1,046,251 千円
合計		1,246,306 千円	2,405,809 千円	1,050,438 千円

紀伊半島における国の支援の活用状況(補助事業)

3県連携実施事業（平成27年度から実施）

半島振興広域連携促進事業については、令和5年度でも11事業を実施
中でも、紀伊半島での3県連携事業は平成27年度からこれまで実施してきているところ

紀伊半島移住プロモーション事業

三重県・奈良県・和歌山県が協働し、紀伊半島地域を1つのエリアとして移住プロモーションを実施

令和4年度実施内容

- 紀伊半島での4つの「地域暮らし体験ツアー」の実施：29名参加
- ・農ある暮らし体験ツアー（三重県熊野市、和歌山県海南市）
 - ・起業について学ぶツアー（奈良県吉野町、和歌山県かつらぎ町・田辺市）
 - ・テレワーク体験ツアー（三重県尾鷲市、奈良県東吉野村、和歌山県那智勝浦町）
 - ・地域づくりについて学ぶツアー（三重県鳥羽市、奈良県下北山村）



紀伊半島の現状について(1)

- 2015年から2020年までの人口減少率が全国平均と比べ、著しく高く、高齢化率も高い。
- 財政基盤も脆弱であり、可住地面積も少ない。

	全国平均	和歌山県	三重県	奈良県
人口増減率 (2015年 → 2020年)	▲0.75%	▲5.60%	▲5.68%	▲10.43%
高齢化率 (2020年)	28.0%	34.6%	35.4%	40.4%
財政力指数	0.50	0.33	0.38	0.22
可住地面積割合	32.5%	21.7%	23.8%	8.4%

※紀伊半島3県の数値は半島地域に指定された地域のみを抜き出し、集計したもの

紀伊半島の現状について(2)

- 社会基盤整備の面から見ると、道路改良率が低い。
- 生活環境の面から見ると、汚水処理人口普及率が低い。
- 保健医療の面から見ると、無医地区に居住している人口割合が高い。

	全国平均	和歌山県	三重県	奈良県
国道・県道等改良率 (2022年)	62.9%	48.5%	55.1%	31.4%
汚水処理人口 普及率 (2022年)	92.9%	70.0%	78.3%	78.1%
無医地区を含む 市町村の人口割合 (2022年)	16.2%	34.7%	15.6%	51.0%
工業集積度 (2021年)	1.00	0.52	0.55	0.40

※紀伊半島3県の数値は半島地域に指定された地域のみを抜き出し、集計したもの
ただし、国道・県道改良率のみ県下全域の数値

要望事項

- ・ 紀伊半島は依然として産業基盤や生活環境の整備面で低位な状況
- ・ 紀伊半島地域活性化に向けて、国の支援の継続は不可欠

- ・ 令和6年度末に法期限を迎える半島振興法を延長し、更なる充実・強化を図ること
- ・ 高規格道路等、社会基盤の整備を推進するとともに、長距離移動手段が必要である等の特性がある半島地域における鉄道路線を維持するための必要な措置を講じること
- ・ 半島地域の医師不足を解消するため「地域枠（医学部臨時定員）」を継続するとともに、医師の専門研修制度における地域医療に配慮した募集定員を確保すること。
- ・ 半島地域を支える産業である農林水産業の振興や、半島地域が有する豊かな自然や独自の歴史・文化を活かした観光施策を推進すること。